

6	改正増補訳鍵		
	K012-51	安政4(1857)	広田憲寛補正
	蘭和辞書。『和蘭字彙』によって『訳鍵』を増補改正したもの。		

- ◆ 題僉は『増補改正訳鍵』、表紙見返しは『改正増補訳鍵』となっている。越前大野藩の広田憲寛(1818-1888)が、『和蘭字彙』を参考にして『訳鍵』を増補改訂し、さらに品詞の略語を入れてつくったのが本書である。安政4年(1857)の「自序」があるが、完結したのは安政末年(1859)か万延元年(1860)と思われる。全5巻、収録語数は約3万語。

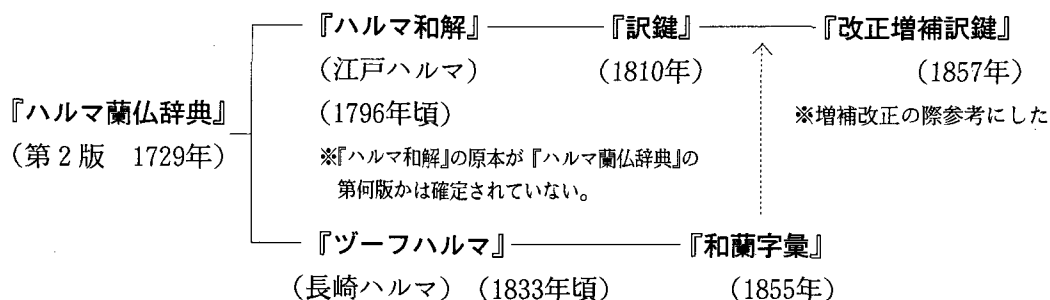
広田は、自序の中で本書刊行の動機を次のように述べている。

「今日ではオランダ語を学ぶものが、漢学を修めるのと同様に多くなってきたが、字書(辞書)が少ない。『和蘭字彙』のような高価な書は貧生にはとうてい買えない。旧本の『訳鍵』は初学者が収録語数に不足を感じている。そこで『和蘭字彙』を参考にして『訳鍵』には省かれていた字性(品詞)を加え、語数も増やした。自分は浅学でこういう仕事には適していないが、初心者のため一日もこの仕事を延ばすことはできないので、あえてこの辞書をつくった」。

本書は半丁が左右に分かれていて、各25段ずつ、半丁あたり50語が収録されている。全396丁、第1冊目から第5冊目まで通して丁付けされている。オランダ語は『和蘭字彙』同様筆記体(『訳鍵』はブロック体)、訳語は漢字片仮名混り文である。

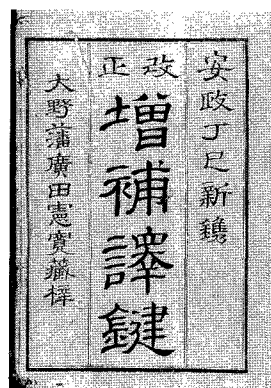
- ◆ 当館所蔵本は、5巻が1冊に合冊されている。題僉、標題紙、自序、奥付、いずれも完備しており、虫損も比較的少なく良好な保存状態である。

蘭和辞典の系譜

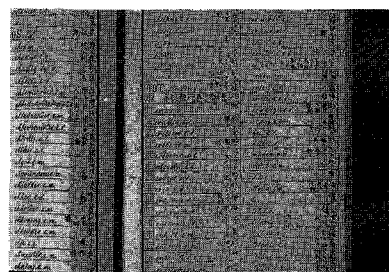


<参考文献> 『江戸時代蘭語学の成立とその展開 Ⅲ』(849-2)

『蘭和・英和辞書発達史』(830.1-102)



6 改正増補訳鍵



6 改正増補訳鍵